

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	0101	科目名	社会人基礎力講座		科目区分	兼任	
科目群	教養	担当講師	相原 芳美		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	使用しない			参考書	レジュメ・ワークシート		
成績評価	提出課題 60% 課題内容 30% まとめテスト 20%						

1. 授業概要

振返りやグループワークを通して、就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする。会社の仕組みや企業が求める人材について理解する。

2. 到達目標

マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身に付けることが出来る。

3. 授業計画

後期	
1	SMBC 特別講座 SMBC コンシューマーファイナンス (株)
2	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
3	社会人に必要なマナーの理解 (挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS利用のマナー)
4	コミュニケーション力向上ワークショップ
5	「チームワーク」向上のワークショップ
6	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
7	「考え抜く力」向上のワークショップ
8	まとめテスト
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 I
10	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 II
11	「自己理解」のためのワークショップ① (価値分析・モチベーション)
12	「自己理解」のためのワークショップ② (好きなこと・得意なこと)
13	「自己理解」のためのワークショップ③ (社会人基礎力の再評価・自己PR)
14	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
15	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
16	企業説明会のエントリー・参加マナー
17	面接練習・まとめテスト

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	102	科目名	特別講義		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	高橋 栄樹		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	担当講師都度配布			参考書	(同左)		
成績評価	提出課題 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

放送業務における多様な職種において、現役スペシャリストより肝要な知識を習得する。

2. 到達目標

経験者より奥深い知識を得ることで現状の足場を固め一層成長し、自身の将来像を描く。

3. 授業計画

後期	
1	特別講義の意義と受講の心構え
2	番組制作の現場と音声の仕事
3	スタジオ技術及び編集・MA
4	報道カメラマンとは
5	電気の基礎技術と国際通信
6	ニュースと報道番組の違い
7	実地における映像編集とは
8	4K8K 放送の撮影編集現場と DIT
9	報道中継と特殊撮影機材（特機）の運用例
10	報道編集マンの仕事とは
11	スポーツ中継映像とスポーツ ENG 映像の違いと役割
12	BS4K8K 放送の現状と将来
13	マスター業務とは
14	中継業務とは
15	放送関連技術企業への就職就業とは
16	放送関連技術企業の研究
17	職域としての各企業説明と求められる人物像

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	103	科目名	マルチメディア工学概論		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	高橋 栄樹		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし（都度配布）			参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布		
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

デジタル処理された画像及び映像音声を扱う上での必須知識として、その仕組みと圧縮技術、各種記録媒体及びインターフェース（接点及び信号のやり取りの規格）について理解する。

2. 到達目標

放送業界に携わる者として当該基礎理論を深め、次々世代の最新技術にも即応できるよう成長する。

3. 授業計画

前期	
1	静止画像と動画映像の違い及び昨今におけるアナログ方式とデジタル方式の違いについて
2	各信号における解像度とは
3	インターフェースとは①
4	インターフェースとは②
5	各種ファイルフォーマットについて①
6	各種ファイルフォーマットについて②
7	各種ファイルフォーマットについて③
8	各種ファイルフォーマットを記録収納する記録媒体とは①
9	各種ファイルフォーマットを記録収納する記録媒体とは②
10	各種ファイルフォーマットを記録収納する記録媒体とは③
11	光ディスクの種類とその仕組みについて①
12	光ディスクの種類とその仕組みについて②
13	光ディスクの種類とその仕組みについて③
14	次世代及び次々世代における記録メディアの将来像①
15	次世代及び次々世代における記録メディアの将来像②
16	前期に学んだ要点の復習及び定期考査の概要説明
17	前期考査
後期	
1	「標本化・量子化・符号化」と圧縮技術について
2	圧縮技術とは ～静止画像及び音声の圧縮～①
3	圧縮技術とは ～静止画像及び音声の圧縮～②
4	圧縮技術とは ～動画映像の圧縮～①
5	圧縮技術とは ～動画映像の圧縮～②
6	放送に欠かせない著作権制度の概要について
7	マルチメディアにおける著作権①
8	マルチメディアにおける著作権②
9	私的録音補償金制度とは
10	著作権料と補償金の分配について
11	各著作権保護機能（ダビング10やCPRM等各制度）について
12	作品鑑賞 ～各著作権を意識し作品への著作権制度の理解を深める～
13	作品鑑賞 ～4K技術の作品を鑑賞し圧縮技術への理解を深める～

1 4	国際放送機器展見学授業後レポート作成 ～次々世代の技術を学びそして得ることができたか～
1 5	前期並びに後期に学んだ要点の復習
1 6	前期並びに後期に学んだ要点の復習及び定期考査の概要説明
1 7	後期考査

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	104	科目名	基礎演習		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	斉藤 みゆん		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書				参考書	30時間でマスターWord2016・Excel2016		
成績評価	各回で作成した課題提出 80%、授業態度 20%						

1. 授業概要

学内での連絡ツールである Outlook メール、Teams アプリなどの使い方から、PC 基本操作レベルの確認をしながら、必要最低限の PC スキルの向上を図ると共に、Word・Excel ソフトを使用し文章作成・表計算などの基本特性を理解する

2. 到達目標

Word・Excel の基本特性を理解した上で、文章作成のスキルを習得し、番組制作の際の資料を作成

3. 授業計画

前期	
1	Outlook について：メール作成・返信・宛先
2	PC 基本操作：ショートカットキー、ファンクションキー
3	Word①（文章作成）：文字入力、記号入力、文字レイアウト
4	Excel①（表作成）：文字入力、表の罫線、計算機能、連続データの入力、行の挿入・削除
5	Word②：表の作成、画像の挿入、図形の作成
6	Excel②：画像の挿入、図形の作成
7	Word・Excel 共通：保存方法、ここまでの復習、メールに添付
8	Word③を使って、文章を作成してみよう
9	Excel③を使って、表を作成・表計算してみよう
10	Word④を使って、図や画像を使った文章を作成してみよう
11	Excel④を使って、時間割を作ってみよう
12	Word⑤で撮影申請書類を作成してみよう
13	Excel⑤で撮影スケジュールを作成してみよう
14	Word⑥で撮影スケジュールの案内を作成してみよう
15	Excel⑥で香盤表を作成してみよう
16	Word まとめ：不得意操作の確認と解説
17	Excel まとめ：不得意操作の確認と解説

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	0105	科目名	一般教養講座 I		科目区分	兼任	
科目群	教養	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y = a \times 2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ①	数学：まとめ①	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

学 科 名	放送映像学科
科目番号	0106
科目名	一般教養講座Ⅱ
科目区分	兼任
科目群	教養
担当講師	菅野敬祐・麻生裕之
履修区分	選択
開講学年	1年
開講学期	後期
単位数	2
授業形態	講義
教科書	各授業でプリント配布
参考書	
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = ax^2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
15	漢字：まとめ①	数学：まとめ①	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」						学科名	放送映像学科
科目番号	0107	科目名	海外研修			科目区分	
科目群	教養	担当講師	校長			履修区分	選択
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

1. 授業概要

年度末の3月に海外へ10日間の語学研修を実施

2. 到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。

3. 授業計画

後期	
1	<p>【研修内容】 前年度実績 変更有</p> <p>渡航予定地 オーストラリア アデレード</p> <p>研修先 ENGLISH COLLEGE OF ADELAIDE</p> <p>語学研修時間 9:00~16:00 6時間×5日間 のべ30時間</p> <p>宿泊 9日間 ホストファミリー宅</p> <p>単位認定に係わる認定時間 語学研修30時間 文化交流90時間 120時間</p> <p>学校としての成績評価 評価は報告書内容による</p> <p>学校としての単位認定基準 帰国後3週間以内に報告を提出した者 認定単位2単位</p>

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	0108	科目名	日本語講座		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（1.自動詞・他動詞／1.助詞①）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.複合動詞①／2.助詞②）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.複合動詞②／3.接続表現①）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.する動詞／4.接続表現②）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.い形容詞／6.文末表現）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.対義語①／8.敬語②謙譲語）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.副詞／10.敬語④）、読解問題
12	漢字・語彙・文法（11.擬音語・擬態語／JLPT 対策問題）
13	漢字・語彙・文法（12.カタカナ語①／JLPT 対策問題）
14	漢字・語彙・文法（13.カタカナ語②／JLPT 対策問題）
15	期末テスト
16	JLPT 対策講座
17	作文練習
後期	
1	漢字・語彙・文法（1.漢字読み・表記／1.文の文法1）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.漢字読み・表記／2.文の文法1）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、読解問題
12	総合問題

13	総合問題
14	総合問題
15	期末テスト
16	グループワーク①
17	グループワーク②

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	0109	科目名	社会人教養講座 I		科目区分	兼任	
科目群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	使用しない			参考書	配布資料		
成績評価	課題提出、授業態度他						

1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一步を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

3. 授業計画

前期	
1	2021年とはどういう年か。世界の人口は78億人だが、日本をはじめ先進国は人口減少時代
2	働き方改革とは何か 働くことの意味、仕組みを学んでいく。
3	厚生労働省のテキスト1
4	厚生労働省のテキスト2
5	厚生労働省のテキスト3
6	厚生労働省のテキスト4
7	厚生労働省のテキスト5
8	厚生労働省のテキスト6
9	厚生労働省のテキストまとめ
10	社会の仕組み 雇用保険 健康保険
11	ブラック企業とは何か
12	危機管理の重要性
13	個人情報とは何か
14	ハラスメントはどこにでもある
15	新聞報道と民主主義
16	消費者教育「社会への扉」1
17	消費者教育「社会への扉」2

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	0110	科目名	社会人教養講座Ⅱ		科目区分	兼任	
科目群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	使用しない			参考書	配布資料		
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一步を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

3. 授業計画

後期	
1	人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方
2	自分を表現する。自己紹介 エントリーシート、ポケット
3	作文のやさしい書き方 入門
4	レポート メモ 手紙
5	自己アピールのポイント 古里 趣味 家族
6	会社の選び方
7	いい会社と悪い会社 会社選びの10禁
8	面接をする側の気持ち、される側の気持ち
9	作文のやさしい書き方 応用編
10	社会の仕組み 年金 税金
11	失敗から学ぶ ミスの原因
12	コロナ禍と各国の対応 どのように生きるか
13	自分の国をどうアピールするか
14	情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
15	全体まとめ
16	最低限身に付けるべき金融リテラシー1
17	最低限身に付けるべき金融リテラシー2

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	201	科目名	スタジオ実習Ⅰ		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	楨本 悟・斎藤孝行・菅谷正之		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし(都度参考資料配布)			参考書	(同左)		
成績評価	平常点や授業の貢献度 65% 番組制作課題作品の評価 35%						

1. 授業概要

スタジオ番組制作実習を通してテレビの用語やルール、機材の取り扱いを理解し、チームワークの大切さ、仕事の楽しさを学ぶ。そして当校の番組スタジオ実習室を活用し実習授業を積み重ねることで、来るべき未来に即戦力として活躍できるよう学生らの成長を促す。また実務経験教員である斎藤先生はスタジオ業務におけるビデオエンジニアとして30年以上の経験があり、その高い経験値を最大限実習授業に反映させ、より実践的で先端的な授業を展開する。

2. 到達目標

2年次の実習に対応出来るよう基礎技術を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業説明 安全について スタジオ機材説明(ペDESTALカメラ・SW・ミキサー・照明卓・CG) 体
2	ペDESTALカメラ練習(パン・ズーム・フォーカス・ドリー) 名前CGテロップ作成
3	照明概論 照明機器説明 サブ機器説明(SW ミキサー 照明卓 CG) 8の字巻体験
4	人物サイズ説明 TALL/RET/インカム説明 ハンディーカメラ体験 音声ミキサー卓実習(マイク
5	CAM SW MIX 実践(自己紹介を兼ねたインタビュー形式の対談でSW体験)
6	総合照明実習 人物カメラサイズ説明 ペDESTALワーク練習
7	総合音声実習 8の字巻き習得 ハンディーカメラレンズ操作練習 QUEシート説明
8	番組制作体験実習 ゲームでSW体験(叩いてかぶってジャンケンポン)
9	番組制作体験実習 ゲームでSW体験(叩いてかぶってジャンケンポン)
10	番組制作体験実習 ゲームでSW体験(床で神経衰弱)
11	番組制作体験実習 ゲームでSW体験(床で神経衰弱)
12	番組制作体験実習 ゲームでSW体験(椅子取りゲーム)
13	番組制作体験実習 ゲームでSW体験(椅子取りゲーム)
14	番組制作体験実習(クイズ・トーク・バラエティー番組)
15	前期末実技試験準備 筆記テスト 試験対策補習 8の字巻き復習
16	前期末実技試験
17	前期末実技試験
後期	
1	後期プラン発表 ジブ体験 ハンディーカメラ(ショートズーム) 照明強化実習 バックフォーカス講座
2	番組制作体験実習(クイズ・トーク・バラエティー番組)
3	歌番組で総合制作 カメラ強化(ドリーワーク・ハンディーカメラ) 照明強化 音声卓強化(N-1)
4	歌番組で総合制作 カメラ強化(ドリーワーク・ハンディーカメラ) 照明強化 音声卓強化(N-1)
5	歌番組で総合制作 カメラ強化(ドリーワーク・ハンディーカメラ) 照明強化 音声卓強化(N-1)
6	2元中継(中継) SW強化(ワイプ) 照明強化 音声強化(掛け合い(N-1))
7	2元中継(中継) SW強化(ワイプ) 照明強化 音声強化(掛け合い(N-1))
8	2元中継(別スタジオ) SW強化(ワイプ) 照明強化 音声強化(掛け合い(N-1))
9	2元中継(別スタジオ) SW強化(ワイプ) 照明強化 音声強化(掛け合い(N-1))
10	スタジオ簡易ドラマ実習

1 1	スタジオ簡易ドラマ実習
1 2	番組制作体験実習 ゲームでSW体験（人間すごろく）
1 3	番組制作体験実習 ゲームでSW体験（人間すごろく）
1 4	前期末実技試験準備 8の字巻き競争をSW実習
1 5	前期末実技試験準備 8の字巻き競争をSW実習
1 6	前期末実技試験
1 7	前期末実技試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	202	科目名	音声実習		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	荒井 吉春 田中 健治		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への関心度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1. 授業概要

テレビ番組における音声の收音方法を基本的な機器操作や技術を習得し、講師の経験から各種番組のノウハウを理解する。

2. 到達目標

学生全員が音声を担当しても困らない水準の音声技術を習得する

3. 授業計画

前期	
1	録音とは、マイクとは、ケーブルの種類を説明
2	各種音声コネクタの説明とケーブルの巻き方の指導
3	マイクとポータブルミキサーの操作方法の解説
4	ポータブルミキサーミキシング実習 1
5	ポータブルミキサーミキシング実習 2
6	スタジオの音声機器の解説と各機器の操作方法
7	音声調整卓の操作方法の説明
8	音声調整卓の操作実習
9	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 1
10	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 2
11	ポータブルミキサーと Boom(竿)での ENG 收音の実習 3
12	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 1
13	音声調整卓を使ってピンマイクと卓上マイクの模擬会見の実習 2
14	前期のまとめ①
15	前期のまとめ②
16	前期のまとめ③
17	前期期末試験
後期	
1	スタジオブームドリーの使用方法の実習
2	Boom(竿)での收音の解説とドラマでの台詞の録音実習 1
3	Boom(竿)での收音の解説とドラマでの台詞の録音実習 2
4	番組での N-1 の作り方を音声調整卓にて作る実習 1
5	番組での N-1 の作り方を音声調整卓にて作る実習 2
6	音楽番組スタジオ実習(カラオケでの PA とボーカル録り)
7	CM の企画実習
8	CM の撮影および素材作り実習
9	CM のナレーション取り実習 1
10	CM のナレーション取り実習 2
11	CM の MA(SE 入れ込み、選曲)実習 1
12	CM の MA(SE 入れ込み、選曲)実習 2

1 3	CMのMA(SE入れ込み、選曲)実習 3
1 4	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 1
1 5	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 2
1 6	実習総括音楽番組 MA(トラックダウン)実習 3
1 7	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	203	科目名	ノンリニア編集		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	植竹邦央 山道源喜		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教科書	特になし			参考書	独自の配付資料有り		
成績評価	後期実技試験と出席率を加味し総合評価						

1. 授業概要

段階的な映像編集の実習を通して基礎の編集技術を身につけ、映像への興味を養い、現役編集者の実技指導によって、編集の面白さと楽しさ、そして難しさを知り、専門職への夢を持たせ、映像を編集することにより構成能力、表現能力、感受性を磨く

2. 到達目標

映像を編集する為の構成能力、表現能力、感受性が向上する。

3. 授業計画

前期	
1	編集ブースの割り振り、基本的な用語の説明、編集機の取り扱い
2	カラーバーやクレジットの作成および編集機の取り扱い
3	レベル1「カフェテラス」2カットを編集する 編集ソフトの取り扱いに慣れる
4	レベル2「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する
5	レベル2「カフェテラス ロング ver」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する
6	レベル3「ランチ」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する（復習）
7	レベル3「ランチ」時間と空間の削除を意識し5カットを尺指定で編集する（復習）
8	レベル4 レベル2・3で使った素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
9	レベル4 レベル2・3で使った素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
10	レベル4 レベル2・3で使った素材を使ってシーンの変わり目とシーケンスを意識する
11	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
12	レベル5「野球」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
13	レベル5「談笑」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
14	レベル5「談笑」イマジナリーライン意識の編集（編集時間30分で終了を目指す）
15	編集技術前期総合トレーニング①
16	編集技術前期総合トレーニング②
17	編集技術前期総合トレーニング③
後期	
1	レベル6 「彼岸花」素材を使って作品のテーマと映像の関係
2	レベル6 「彼岸花」素材を使って作品のテーマと映像の関係
3	レベル7 「イルミネーション」素材を使ってレポート編集トレーニング
4	レベル8 「彼岸花」レポート形式による編集（BGM使用）
5	レベル8 「彼岸花」レポート形式による編集（BGM使用）
6	レベル8 「彼岸花」レポート形式による編集（BGM使用）

7	レベル9 「バンジージャンプ」	レポート形式による編集
8	レベル9 「バンジージャンプ」	レポート形式による編集
9	レベル9 「バンジージャンプ」	レポート形式による編集
10	レベル9 「バンジージャンプ」	レポート形式による編集
11	レベル10 「雪の大谷」	レポート形式による編集
12	レベル10 「雪の大谷」	レポート形式による編集
13	レベル10 「雪の大谷」	レポート形式による編集
14	レベル10 「雪の大谷」	レポート形式による編集
15	編集技術総合振り返り①	
16	編集技術総合振り返り②	
17	編集技術総合振り返り③	

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	204	科目名	ENGロケ取材基礎		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	高橋 栄樹 田中 健治		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	映像制作ハンドブック		参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布			
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

ENGカメラ及びフィールド3CHミキサーの操作を確実に理解し、基本的な撮影方法を習得する。

2. 到達目標

それぞれの撮影機材の用途及び基本操作を理解し、必須装備として活用できるよう成長する。

3. 授業計画

前期	
1	【ガイダンス】受講心得と趣旨説明 ENG解説 放送機材(カメラ及び三脚)の構造と取り扱い方法
2	【ENG概念】色温度及びTC(タイムコード)説明 「表現」の根源である5W1Hの解説
3	【撮影基礎①】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し「伝える」表現の根底を理解する～
4	【撮影基礎②】実習後撮影素材評価 基本的なカメラ・レコーダーの習熟訓練実施
5	【撮影基礎③】業務用小型カメラ及び三脚の構造と取り扱い方法
6	【撮影基礎④】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し「伝わったかどうか」の結果を理解する～
7	【撮影基礎⑤】実習後撮影素材評価 カメラ・レコーダーの更なる向上のため習熟訓練実施
8	【録音基礎①】ガンマイク及びフィールド3CHミキサーの取り扱い方法
9	【録音基礎②】ガンマイク及びフィールド3CHミキサーの取り扱い方法 ENGカメラとの結線
10	【総合基礎①】撮影実習～テーマに沿った題材を撮影し確実に「伝わる」表現を習得する～
11	【総合基礎②】撮影実習～展示企画における絵画撮影を通じ静態描写を理解する～
12	【総合基礎③】実習後撮影素材評価 カメラ及びミキサー・レコーダーの更なる向上のため習熟訓練実施
13	【総合基礎④】各機材アクセサリ説明及び使用時効果解説
14	【前期復習①】前期習得した各理論における総復習及び筆記試験補足解説
15	【前期復習②】前期習得した各技術における総復習及び実技試験補足解説
16	【前期考查①】筆記試験
17	【前期考查②】実技試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	205	科目名	ENGロケ取材実習		科目区分	専任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	高橋 栄樹 田中 健治		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	映像制作ハンドブック		参考書	授業の内容に応じ補足として都度配布			
成績評価	期末試験 50%及び平常点や授業への貢献度 50%の合算数値により評価						

1. 授業概要

前期で学んだことを生かし、主旨やテーマを確実に「伝える」「伝わる」ための方法論を会得する。

2. 到達目標

作品制作の過程を理解しそして完成させ、更に伝えることに重きを置いた表現者となるよう成長する。

3. 授業計画

後期	
1	【前期の復習】前期習得した各理論及び各技術における総復習 カメラオペレーションの習熟訓練実施
2	【照明基礎①】照明機材説明 効果解説及び取り扱い方法
3	【照明基礎②】撮影実習～照明を使用しその効果を実感する 人物及び物撮り(湯気の出し方)～
4	【総合演習①】撮影実習～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅰ～
5	【総合演習②】撮影実習～すべての要素を含んだ様々なテーマで実践収録Ⅱ～
6	【総合演習③】中継車実習～中継車を用いた大規模舞台(ミュージカル)撮影実施～
7	【総合演習④】中継車実習～撮影素材評価及び中継車実習における肝要な気づきの再確認～
8	【総合演習⑤】撮影実習～90秒のドキュメンタリー制作 企画会議～
9	【総合演習⑥】撮影実習～90秒のドキュメンタリー制作 ロケーションハンティング～
10	【総合演習⑦】撮影実習～90秒のドキュメンタリー制作 取材Ⅰ～
11	【総合演習⑧】撮影実習～90秒のドキュメンタリー制作 取材Ⅱ～
12	【総合演習⑨】撮影実習～作品鑑賞及び品評～
13	【2年次対応】撮影特機概要説明及び実践
14	【後期復習①】後期習得した各理論における総復習及び筆記試験補足解説
15	【後期復習②】後期習得した各技術における総復習及び実技試験補足解説
16	【後期考查①】筆記試験
17	【後期考查②】実技試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	放送映像学科		
科目番号	206	科目名	コンテンツ制作 I		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	大野紗耶子 小原大希		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 50%、平常点 50%						

1. 授業概要

パソコンを用いた実習で、放送映像学科で用いるアプリケーションソフトの基本的な使い方を学ぶ。

2. 到達目標

放送機材の基本的な取扱い方とパソコンの基本操作ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	Photoshop の操作概要
2	フォトレタッチ操作① コピースタンプツールの活用、色の調整
3	フォトレタッチ操作② 切り抜き操作、選択の操作
4	フォトレタッチ操作③ 色の調整や変更
5	フォトアート作成① レイヤの理解と活用
6	フォトアート作成② CDジャケット制作 1、写真サイズの修正
7	フォトアート作成③ CDジャケット制作 2、レイヤースタイル設定
8	フォトアート作成④ フィルタ効果について人物の写真の修正 (ほくろ、しみ)
9	フォトアート作成⑤ 画像の合成
10	Illustrator の基本操作 パーツの合成機能などを用いてイラストを描く・図形でキャラクターの作成
11	Illustrator の基本操作
12	Illustrator の基本操作 鉛筆ツールを使用してキャラクターの作成 1
13	Illustrator の基本操作 鉛筆ツールを使用してキャラクターの作成 2
14	Illustrator の基本操作 ペンツールで文字のトレース
15	Illustrator で広告作成
16	Photoshop と Illustrator の連携
17	Photoshop と Illustrator の連携

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	207	科目名	コンテンツ制作Ⅱ		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	大野紗耶子 小原大希		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題作品 70% 平常点 30%						

1. 授業概要

After Effects、Premiere Pro の使用方法を正しく理解する。

2. 到達目標

映像コンテンツの素材が作成できるようになる。

3. 授業計画

後期		
1	After Effects を用いての総合作品制作①	動画・静止画の使用 人物を消す
2	After Effects を用いての総合作品制作②	動画・静止画の使用 エフェクトを用いる
3	After Effects を用いての総合作品制作③	動画・静止画の使用 ドラマで使える合成①
4	After Effects を用いての総合作品制作④	動画・静止画の使用 ドラマで使える合成②
5	After Effects を用いての総合作品制作⑤	動画・静止画の使用 ドラマで使える合成③
6	After Effects を用いての総合作品制作⑥	動画・静止画の使用 ドラマで使える合成④
7	Adobe Premiere Pro の基本操作①映像のカットの仕方	
8	Adobe Premiere Pro の基本操作②テロップの挿入方法	
9	Adobe Premiere Pro の基本操作③エフェクトの適用	
10	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集①	
11	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集②	
12	Adobe Premiere Pro を用いて 1 分程の映像作品を編集③	
13	複数の動画の合成① 光線のエフェクトの作成	
14	複数の動画の合成② 人物の動きに合わせたエフェクトの作成①	
15	複数の動画の合成③ 人物の動きに合わせたエフェクトの作成②	
16	アプリケーション操作総合トレーニング 1	
17	アプリケーション操作総合トレーニング 2	

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」						学科名	放送映像学科
科目番号	208	科目名	企画演出論			科目区分	兼任 実務教員
科目群	専門	担当講師	小中 和哉			履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし			参考書			
成績評価	筆記試験 90%平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

演出技法の解説をした後にその技法が使われている映画の1シーンを見せて、現場ですぐに生かせる技術を身に付ける。参考作品を見せて分析・解説して映像作品への理解を深める。もしリモート授業になった場合でも対応できるテキストを用意する。

2. 到達目標

放送番組のスタッフとして、最低限知っておくべき映像演出の技法を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	演出とは何か？制作現場において演出家が持つ役割、責任
2	カメラポジション、アングル、サイズ
3	基本のカメラワーク①カメラワーク（パン）
4	基本のカメラワーク②カメラワーク（ズーム）
5	基本のカメラワーク③カメラワーク（移動、クレーン）
6	基本のカメラワーク④レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）前編
7	基本のカメラワーク⑤レンズとフォーカス（広角と望遠、被写界深度）後編
8	編集の基本①（モンタージュ論、カットつなぎの方法）
9	編集の基本②（様々な編集リズム、イマジナリーライン）
10	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）①
11	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）②
12	カット割りの基本（字コンテと画コンテ、カット割り実習）③
13	照明の基本（ライティングによる演出効果）
14	色彩の演出、作品のルック
15	前期末試験
16	音響演出の基本（SEと音楽）②
17	前期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	209	科 目 名	企画演出実習		科目区分	兼任 実務教員	
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	課題提出される脚本、企画書、構成案、スケジュール表の評価平均点 90%及び平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

テレビ番組、映画の制作で使われる企画書、脚本、構成案、スケジュール表などを作成できる能力を身に付ける。

2. 到達目標

希望職種に関わらず企画制作の過程を理解する。

3. 授業計画

前期	
1	脚本実習① 小説からシナリオ形式に書き起こす 解説
2	シナリオ書き
3	実際のシナリオとの比較 作品鑑賞
4	脚本実習② 決まったプロットから自分でシナリオを書く 解説
5	シナリオ書き①
6	シナリオ書き②
7	企画書実習 解説
8	企画書作り①
9	企画書作り②
10	字コンテ実習 解説
11	字コンテ書き①
12	字コンテ書き②
13	画コンテ実習 解説①
14	画コンテ実習 解説②
15	画コンテ書き①
16	画コンテ書き②
17	画コンテ書き③
後期	
1	スケジュール表実習 解説
2	スケジュール表書き①
3	スケジュール表書き②
4	制作シミュレーション実習 脚本分析
5	本読み
6	立ち稽古
7	コンテ書き①
8	コンテ書き②
9	カメラワーク実習①
10	カメラワーク実習②
11	カメラワーク実習③
12	カメラワーク実習④
13	作品鑑賞①
14	作品鑑賞②
15	作品解説
16	後期実習総合課題 1

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	210	科目名	編集理論	科目区分	兼任
科目群	専門	担当講師	高橋 巖	履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2
教科書	授業毎にテキストを配布		参考書	必要に応じて提示	
成績評価	出席状況、小レポート、小テスト、期末試験で総合的に判断する				

1. 授業概要

映像編集に関する基礎知識を学び、編集の面白さと奥深さを理解する

2. 到達目標

編集の概念と役割の把握。編集専門職の業務内容を理解する。

3. 授業計画

後期		
1	日常における編集	文化は編集である
2	ショットとカット	演出と編集の関係
3	編集の歴史	フィルムからデジタルへ
4	編集の倫理①	編集の作用
5	編集の倫理②	プロパガンダ
6	カットポイント	伝達のためのリズムと間
7	画と音	自然に見える不自然さ
8	モンタージュ	発明と発達
9	編集技法①	時空の構成
10	編集技法②	エフェクトの意味
11	編集技法③	形や動きの活用
12	編集技法④	CGとCGI
13	サウンド編集 1	台詞と音楽と効果音の関係
14	サウンド編集 2	フォーリーアーティスト
15	総復習①	
16	総復習②	
17	定期試験	

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	211	科目名	インターンシップ	科目区分	連携企業
科目群	専門	担当講師	高橋 栄樹	履修区分	選択
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	1
教科書	なし（企業研修のため）		教材・参考書 なし（企業研修のため）		
成績評価	一週間程度の企業研修に参加し、学びについてのレポート提出により評価				

1. 授業概要

実際の各現場を体験することを目的としたインターンシップ（校外企業研修制度）参加者への単位付与。

2. 到達目標

学校では決して学ぶことができない「最前線の現業」を経験し、未来像を具象化することに役立てる。

3. 授業計画

後期	
1	企業内及び各現業実地における研修並びに参加後レポート作成提出
2	(以下同文)
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	注) 企業研修制度のため実際の授業回数と異なる

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	212	科目名	技術基礎		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	鈴木 和弘		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	講師作成テキスト			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

電気基礎や基礎単位を理解することにより、映像、音声、照明などの仕組みと放送機材全般に関連する操作や監視に必要な基礎知識を学ぶ
--

2. 到達目標

新しい映像音響技術について容易に理解できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	電気基礎ガイダンス、S I 単位系について。
2	電気関連のS I 単位と、単位に関わる接頭語について。
3	明かりの単位 ルクス、カンデラ、ルーメン
4	光源の色温度
5	直流と電圧 電位 1次電池 2次電池
6	直流と交流電源の特徴
7	周波数と周期
8	電気回路基礎 Ωの法則 序説
9	直列閉回路 並列閉回路
10	抵抗回路の基礎、合成抵抗、電圧分割、消費電力
11	電気回路における記号の基礎。
12	電子部品 コンデンサ、半導体、LED、変圧器。
13	デジタルデータ・アナログデータの概念
14	アナログデジタル変換と2進法
15	デジタルの基礎 デジタルデータの単位 2進法 16進法 10進法
16	技術基礎 前期レビュー。
17	期末試験
後期	
1	技術基礎試験問題解説。
2	信号の伝送に要する線数と不平衡・平衡回路
3	映像音声機器間の信号接続 1
4	映像音声機器間の信号接続 2
5	音声信号のAD変換
6	音波の速度
7	デシベルの概念について。
8	デシベルの応用と例題の解説。
9	電気音響技術でのデシベル応用
10	音響の基礎。
11	スタジオ音響とホール音響 設計について
12	電波の種類と特徴。地上波デジタル放送
13	電波の周波数帯域 BS 4K8K 放送
14	電波と変調の技術
15	技術基礎後期レビュー
16	技術基礎 総括
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	213	科目名	放送技術概論		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	鈴木 和弘		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	ポストプロダクション技術マニュアル		参考書	講師作成テキスト			
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

テレビジョンの基本原理及びデジタル映像信号、放送機材の基本的な仕組みを理解する。

2. 到達目標

放送分野の制作業務に必要な、様々な基礎的知識を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	放送概論ガイダンス。
2	動画の原理、テレビジョンの基本原理。
3	走査線の概念と同期信号。
4	光と色彩の知識、色温度について。
5	色の3原色と3属性について
6	レンズの基礎
7	レンズの知識(絞り)。
8	レンズの知識(被写界深度)。レンズの基礎まとめ
9	カメラ内での信号処理について (撮像素子、ガンマ)。
10	カメラ内での信号処理について (ホワイトバランス、ニー、ホワイトクリップ、ディテール)。
11	映像信号の基礎。波形モニター。
12	マイクの取り扱いについて。
13	世界各地の放送規格。コンポーネント信号、コンポジット信号について。
14	SD信号とHD信号の接続と転送について、SDI、IP。
15	前期放送概論レビュー。
16	前期放送概論レビュー
17	前期期末試験
後期	
1	放送概論試験問題解説。
2	デジタルビデオ信号の仕組みについて。
3	放送用モニター、波形モニターについて。
4	VTRに関する基礎と映像音声データ基礎
5	映像音声データ運用に関する知識
6	タイムコードの基礎知識。
7	スイッチャーと映像特殊効果について。
8	ゲンロック (同期結合) の概念。
9	信号用コネクター盤について、パッチ盤の仕組み。
10	映像関連の信号処理機材について。
11	インカムシステムの仕組みについて。
12	ミキシングコンソールとオーディオエフェクターの概要
13	デジタルミキサとアナログミキサの特徴について。
14	映画フィルムからビデオへの変換技術、デジタルシネマの概要。劇場音響システム。
15	デジタルシネマとテレビ放送の技術的な差異について
16	後期放送概論レビュー
17	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学 科 名	放送映像学科
科目番号	214	科 目 名	テレビ音声	科目区分	兼任 実務教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春	履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4
教 科 書	なし		参考書	授業形態	講義
成績評価	常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%				

1. 授業概要

テレビ音声の役割を理解させ他の部署との協調性を常に保つよう指導して音声の基礎と機器の操作方法を習得する。

2. 到達目標

テレビ音声の業務内容と技術を理解する

3. 授業計画

前期	
1	テレビ音声とはどのような科目なのかを具体的に説明
2	テレビにおける音声の役割と仕事の解説
3	ケーブルとコネクタ、収録機(VTR等)の説明
4	マイクロフォンの種類および使い方の説明
5	ポータブルミキサーの使い方の説明 1
6	ポータブルミキサーの使い方の説明 2
7	スタジオ音声機器の説明
8	スタジオ音声機器の使い方の解説
9	パッチベイの説明
10	音声調整卓の説明
11	音声調整卓の使い方
12	ENGの音声の仕事 1
13	前期のまとめ 1
14	前期のまとめ 2
15	期末試験
16	前期総括 1
17	前期総括 2
後期	
1	ENGの音声の仕事 2
2	ENGの音声の仕事 3
3	ドラマの音声 1
4	ドラマの音声 2
5	情報番組の音声 1
6	情報番組の音声 2
7	中継番組の音声 1
8	中継番組の音声 2
9	音楽番組の音声 1
10	音楽番組の音声 2
11	PAの説明とスタジオにおける簡易 PA
12	ポスプロにおける音声
13	MA 1
14	MA 2
15	MA 3

16	MA4
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	215	科目名	スタジオ実習II	科目区分	兼任 実務教員
科目群	専門	担当講師	高梨、鈴木、斎藤(孝)、菅谷	履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4
教科書	なし(都度参考資料配布)		参考書	(同左)	
成績評価	平常点や授業の貢献度 65% 番組制作課題作品の評価 35%				

1. 授業概要

実習毎に設定されるテーマに応じて番組制作をグループ毎に行い、より実践的なスタジオ番組制作技術を習得する。そして当校の番組スタジオ実習室を活用し実習授業を積み重ねることで、来るべき未来に即戦力として活躍できるよう学生らの成長を促す。また実務経験教員である高梨先生はスタジオ業務におけるテクニカルディレクターとして40年以上の経験があり、その高い経験値を最大限実習授業に反映させ、より実践的で先端的な授業を展開する。

2. 到達目標

テレビ番組制作に関わる人材として通用する技能と意識を身に付ける

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介をして、自己紹介のVTRを収録する。
2	ケーブルの巻き方、カメラのレンズの脱着の仕方を学ぶ。
3	人物を撮るときのサイズを学ぶ。
4	人物への照明の当て方、音の取り方を学ぶ。
5	一人しゃべりの撮影の仕方を学ぶ。
6	二人対談の撮り方や照明のあて方を学ぶ。
7	三人対談の撮り方、照明のあり方
8	四～六人の対談の撮り方、音の取り方、照明のあて方を学ぶ。
9	銅像を使って照明の当て方、カメラワークの仕方。
10	クレーンを作ってクレーンワークの仕方を学ぶ。
11	歌番組を制作して、カメラ、音声、照明のレベルアップを計る。
12	紙芝居を撮影する①
13	紙芝居を撮影する②
14	紙芝居を撮影する③
15	クロマキーの合成技術を学ぶ
16	前期まとめ 総復習①
17	前期まとめ 総復習②
後期	
1	歌番組を撮影する。
2	オリジナル番組を作る ドラマ①
3	オリジナル番組を作る ドラマ②
4	オリジナル番組を作る ドラマ③
5	UNOの取り方を学ぶ①
6	UNOの取り方を学ぶ②
7	料理番組を企画準備する
8	料理番組を撮影する
9	生放送の企画、準備①

10	生放送の企画、準備②
11	生放送の撮影
12	学校CM企画、準備①
13	学校CM企画、準備②
14	学校CM撮影
15	今まで制作した番組のレビュー
16	ペDESTALの動かし方を復習する。
17	カメラワーク、サイズの復習をする。

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	216	科目名	デジタルエフェクト		科目区分	兼任	
科目群	専門	担当講師	大和 拓		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教科書				参考書			
成績評価	課題作品評価 60%平常点や授業への貢献度 40%						

1. 授業概要

アフターエフェツ（アプリケーション）を使った映像表現の技術を習得する。

2. 到達目標

デジタル映像処理の基礎を理解し、作品づくりの基礎と心構えを習得する。

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。基礎知識確認。
2	AE 基本操作解説。
3	AI 基礎技術練習。練習課題1時計。
4	練習課題1時計続き。
5	AI 基礎技術練習。練習課題2観覧車。
6	練習課題2観覧車続き。
7	練習課題2観覧車続き。
8	PS 基礎技術練習。練習課題3踊る名前。
9	課題4走る動物。
10	課題4走る動物続き。
11	課題4走る動物続き。
12	課題4走る動物続き。
13	AE 基礎技術解説。練習課題5惑星と衛星。
14	AE 基礎技術解説。練習課題6箱。
15	練習課題6箱続き。
16	自由制作
17	自由制作
後期	
1	練習課題7光る剣
2	練習課題7光る剣。続き。
3	練習課題7光る剣。続き。
4	エフェクト解説。
5	課題8 フットサルチーム紹介。
6	課題8 フットサルチーム紹介。続き。
7	課題8 フットサルチーム紹介。続き。
8	課題8 フットサルチーム紹介。続き。
9	課題8 フットサルチーム紹介。続き。品評会。

10	課題11 架空のテレビ番組オープニング。
11	課題11 架空のテレビ番組オープニング。続き。
12	課題11 架空のテレビ番組オープニング。続き。
13	課題11 架空のテレビ番組オープニング。続き。
14	課題11 架空のテレビ番組オープニング。続き。
15	品評会。総括。
16	自由制作
17	品評会。総括。

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	217	科目名	撮影技術実習		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	荒井 吉春		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業への貢献度 30%、実習試験による評価と実習授業理解度 70%						

1. 授業概要

テレビ番組における撮影技術と音声の集音方法の為の機器操作や技術を習得する。

2. 到達目標

ドラマ制作におけるの撮影方法、録音方法やMAの技術を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	ドラマ撮影の準備/自己紹介・映像制作基礎講座 「物に命を吹き込む」班分け・テーマ出し
2	ドラマ撮影 1/制作実習① 「物に命を吹き込む」ナレーション作成・1～2班
3	ドラマ撮影 2/制作実習② 「物に命を吹き込む」ナレーション作成・撮影 3～4班
4	ドラマ撮影 3/制作実習③ 「物に命を吹き込む」完成版試聴 感想シェアフィードバック
5	ドラマ撮影 4/スケジュールを作成しよう (課題)
6	ドラマ撮影 5/スケジュール制作振り返り ロケ構成を作成しよう
7	ドラマ撮影 6/ロケ台本の作成～発表
8	ドラマ MA 1 整音/台本を元に撮影 a
9	ドラマ MA 2 整音/台本を元に撮影 b
10	ドラマ MA 3 整音/カメラ台数の使い方 1台～複数台の使い方
11	ドラマ MA 4 選曲/歌番組でのカメラの割り方・カメラの使い方
12	ドラマ MA 5 選曲/番組企画立案 テーマに沿った番組内容を考える
13	ドラマ MA 6 MIX/番組企画のアウトプット (a 発表)
14	ドラマ MA 7 MIX/番組企画のアウトプット (b 発表)
15	完成鑑賞①/CM クライアントの要望に応えアイデアを出そう! (チームで絵コンテ作成)
16	完成鑑賞②/CM のプロット版撮影 a
17	完成鑑賞③/CM のプロット版撮影 b
後期	
1	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 1 /前期末試験解説
2	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 2 /ロケ撮影実習①打ち合わせ
3	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 3 /打ち合わせ
4	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 4 /打ち合わせ予備日
5	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 5 /撮影準備
6	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 6 /撮影準備
7	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 7 /撮影
8	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 8 /撮影予備日
9	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 9 /卒業制作の撮影①
10	他授業で撮影した素材を使用 MA実習 10 /卒業制作の撮影②
11	卒業制作: MA 1 整音/卒業制作の撮影③
12	卒業制作: MA 2 整音/ロケ撮影実習②打ち合わせ
13	卒業制作: MA 3 整音/撮影準備
14	卒業制作: MA 4 選曲/撮影
15	卒業制作: MA 5 MIX/ロケ機材総合復習、試験前説明
16	卒業制作: MA 6 MIX/後期末試験① (筆記試験)
17	卒業制作: MA 7 MIX 後期末試験② (実技試験)

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	218	科目名	アートクリエイティブ実習		科目区分		
科目群	専門	担当講師	川田 直樹		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教科書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験 100%						

1. 授業概要

技術面と精神面を両軸として映像作り全体から見た映像美術、特に美術の基本を実践的に習得する

2. 到達目標

美術パートはもとより他のパートにも必要な映像美術の基礎知識の習得

3. 授業計画

前期	
1	映像美術の分業について 仕事における安全性の確保① 時間の考え方
2	仕事における安全性の確保②美術パートの工具や道具 持道具のつながり
3	美術パートの台本を元に作成される資料。様々な香盤表
4	美術パート、消え物について 台本を読むにあたり大切な因果関係、
5	空間の序列、上座、下座について 小道具 桐の箱の扱い方
6	大道具建具(襖や障子)について 小道具 掛け軸の扱い方
7	装飾パート 家具の扱い方や運び方。美術や小道具におけるキャラクター表現。
8	平面図、イメージ画を自ら描き、図面の見方を学ぶ
9	20年後の映像業界と必ずやってくる重要なテーマ。
10	短編映像作品(約30分)から 映像作りの全体を学ぶ。
11	セットの空間(日本間)の各パーツの名称。各撮影所や各テレビ局の異なる基準。
12	過去の卒業制作を見て作品作りにおける重要性を考える①
13	過去の卒業制作を見て作品作りにおける重要性を考える②
14	前期授業の総復習①
15	前期授業の総復習②
16	前期授業の総復習③
17	前期試験
後期	
1	模擬撮影①台本の読み方捉え方 前期試験答え合わせ
2	” ②スタッフの編成と準備
3	” ③1時間 限られた時間での撮影
4	” ④検証 班ごとに異なる様々な表現
5	フレーム内を作り上げる美術パートの作業
6	映像美術と舞台美術の比較。ライブ映像制作における舞台美術。
7	イベント、音楽フェスによる美術パートの仕事。
8	映画、ドラマとバラエティ、情報番組の美術パートの作業の違い。
9	卒業制作を控えての美術パートの準備や作業の進め方。過去の卒制を参考に。
10	卒業制作の実践。作品作りの準備や撮影①各班(作品)ごと
11	” ” ② ”
12	” ” ③ ”
13	” ” ④ ”
14	卒業後について。仕事に対する取り組み方や考え方
15	1年間の美術の授業を通して、卒制と映像美術について 2種類のレポート①
16	1年間の美術の授業を通して、卒制と映像美術について 2種類のレポート②
17	1年間の美術の授業を通して、卒制と映像美術について 2種類のレポート③

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	219	科目名	番組制作論		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	金田 龍		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通期	単位数	4	授業形態	講義
教科書	講師作成資料			参考書			
成績評価	筆記試験及び番組企画書などの課題提出物 60%、平常点や授業への貢献度 40%						

1. 授業概要

番組制作において実践的な技術や注意すべきこと、視聴者、出演者、スタッフ、撮影に関わる人との意思疎通のとり方を習得する。

2. 到達目標

映像業界に就職するにあたり、知っておくべき番組制作の手順と慣習を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	制作・演出の仕事
2	○演出・脚本・演技について
3	〃
4	〃
5	○現場スタッフ各パートの役割・プロの現場について
6	〃
7	〃
8	○脚本から演出する作法
9	〃
10	〃
11	○作品研究
12	〃
13	〃
14	ディベート①
15	ディベート②
16	ディベート③
17	撮影現場についてレポート作成
後期	
1	○作品研究
2	〃
3	〃
4	学園祭準備
5	卒業制作準備①
6	〃 ②
7	卒業制作撮影
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	卒業制作レポート作成
17	後期期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	220	科 目 名	ドラマ演出論		科目区分	兼任 実務教員	
科 目 群	専門	担当講師	小中 和哉		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	各課題のレポートを総合して評価する。						

1. 授業概要

実際の映像作品を題材に、撮影する際に必要とされる基本的な演出方法を習得できる。

2. 到達目標

演出業務に関わるメンバーとの意思疎通が円滑に出来るようになる。自分の狙いを言語化できるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	実習用シナリオ①
2	実習用シナリオ②
3	映像解説①
4	映像解説②
5	試験対策授業
6	試験対策授業
7	試験対策授業
8	映像解説③
9	映像解説④
10	映像解説⑤
11	卒制企画書①
12	卒制企画書②
13	卒制企画書③
14	映像解説⑥
15	映像解説⑦
16	作品鑑賞①
17	作品鑑賞②
後期	
1	映像解説⑧
2	映像解説⑨
3	映像解説⑩
4	映像解説⑪
5	映像解説⑫
6	映像解説⑬
7	映像解説⑭
8	映像解説⑮
9	卒制撮影
10	卒制撮影
11	卒制撮影
12	映像解説⑯
13	映像解説⑰
14	映像解説⑱
15	映像解説⑲
16	作品鑑賞①
17	作品鑑賞②

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	221	科目名	ENG 番組制作実習 I		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	橋本 弘行 齊藤 みゆん		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書				参考書			
成績評価	試験 80% (筆記 50%・実技 50%)、授業やグループへの貢献度 10%、その他課題評価 10%						

1. 授業概要

主にロケ収録に於ける ENG カメラ・音声機材・照明の取り扱い方法を総合的に理解し、企画・演出・撮影進行に於ける制作分野も総合的に理解する。

2. 到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介、1年次履修内容の復習 (カメラ知識、音声知識、照明知識)
2	1年次の総復習 (カメラセッティング、レンズの特徴、被写界深度、音声入出力、照明種類・色温度)
3	インタビュー撮影①練習 (撮影方法、カメラワーク、照明の当て方、マイクの設置法)
4	インタビュー撮影②実践 (校内ロケ撮影実習)
5	テーマに合わせた撮影方法① テーマ・被写体決め・実践 (校内ロケ撮影実習)
6	その他の撮影方法①インサート撮影 (湯気の出る食品の照明の当て方、画角サイズ、構図)
7	自分たちで企画から撮影まで① a,企画打ち合わせ
8	b,撮影準備
9	c,撮影
10	d,撮影予備日
11	撮影後のプレビュー・講評
12	自分たちで企画から撮影まで② a,企画打ち合わせ
13	b,撮影準備
14	c,撮影
15	撮影後のプレビュー・講評、試験前説明等
16	前期期末試験① (筆記試験)
17	前期期末試験② (実技試験)

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	222	科目名	ENG 番組制作実習Ⅱ		科目区分	兼任 実務教員	
科目群	専門	担当講師	橋本 弘行 齊藤 みゆん		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書				参考書			
成績評価	試験 80% (筆記 50%・実技 50%)、授業やグループへの貢献度 10%、その他課題評価 10%						

1. 授業概要

前期授業で習得した技法などを用いて、自主的に企画立案しより実践的な撮影技法を習得する。

2. 到達目標

習得した技術により、自主的に企画を立案し番組制作ができるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	前期期末試験解説
2	ロケ撮影実習①打ち合わせ
3	打ち合わせ
4	打ち合わせ予備日
5	撮影準備
6	撮影準備
7	撮影
8	撮影予備日
9	卒業制作の撮影①
10	卒業制作の撮影②
11	卒業制作の撮影③
12	ロケ撮影実習②打ち合わせ
13	撮影準備
14	撮影
15	ロケ機材総合復習、試験前説明
16	後期期末試験① (筆記試験)
17	後期期末試験② (実技試験)

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	223	科目名	ノンリニアエディティング I		科目区分	専任	
科目群	専門	担当講師	大野・斉藤・島田		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

1. 授業概要

1年次に学んだノンリニア編集の基本操作の復習や、新たな機能の練習を行い、2年次撮影素材の編集を行う事でより高度な編集技術を習得する。

2. 到達目標

編集業務に於いてより実践的な編集処理が出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	龍踊り 課題①：素材の確認、ビンの振分け・サブクリップ作成 TFX：基本操作
2	〃 ②：編集の基本操作復習、トリミング、カットの移動、一括編集 TFX：キャラクター作成
3	〃 ③：スプリット編集や、音の編集 TFX：キャラクター作成
4	〃 ④：カラーコレクション、モーションエフェクト、タイトルツール TFX：ロゴ作成
5	〃 ⑤：ステップイン・アウト操作、ビクチャーインエフェクト、エクスポート設定 TFX：ロゴ作成
6	P2カードの取り込み方 TFX：ワイプ・吹き出しテロップ作成・テロップ変換
7	入学式素材素材のデジタイズ・トラッキング操作・
8	入学式素材：素材のデジタイズ、トラッキング操作、デジタルカット、画面の合成
9	オープンキャンパス動画の編集①：デジタイズ
10	〃 ②：各自で編集
11	〃 ③：各自で編集 TFX：サイドテロップ作成
12	〃 ④：白パケ、テロップ入れ TFX：説明テロップ作成
13	〃 ⑤：完パケエクスポート：MA用AAF/OMF
14	〃 ⑥：QuickTime(課題提出用)
15	実技テスト
16	編集技術総合実習①
17	編集技術総合実習②

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	放送映像学科	
科目番号	224	科 目 名	ノンリニアエディティング II		科目区分	専任	
科 目 群	専門	担当講師	大野・斉藤・島田		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	なし			参考書	なし		
成績評価	課題編集作品 70%、平常点 30%						

1. 授業概要

撮影実習で撮影した素材を用いて各自で編集を行い、作品として完成できる技能を習得する。

2. 到達目標

Avid の操作習熟により、実践的な編集処理が出来るようになる。

3. 授業計画

後期		
1	動画の合成①	
2	動画の合成②	
3	動画の合成③・他学生の作品を見てお互いに評価	
4	スタジオ・ENG 素材の編集：素材の取り込み	
5	スタジオ・ENG 素材の編集：素材の確認	
6	スタジオ・ENG 素材の編集：粗編集	
7	スタジオ・ENG 素材の編集：粗編集	TFX：素材に沿ったテロップ作成
8	スタジオ・ENG 素材の編集：白完	TFX：素材に沿ったテロップ作成
9	スタジオ・ENG 素材の編集：音楽つけ	TFX：素材に沿ったテロップ作成
10	スタジオ・ENG 素材の編集：完成、提出	
11	ENG 撮影素材：素材の取り込み、カラーコレクション、エンドロールの作成	
12	ENG 撮影素材：提出用 QuickTimeMovie 作成	
13	卒業制作・2年間まとめ作品：編集	
14	卒業制作・2年間まとめ作品： //	
15	卒業制作・2年間まとめ作品：MA 用書き出し AAF・QuickTimeMovie	
16	卒業制作・2年間まとめ作品：MA 音戻し	
17	編集技術総合実習	

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	225	科目名	総合演習	科目区分	兼任 実務教員
科目群	専門	担当講師	小中 和哉、金田 龍、高橋 巖、他	履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	6
教科書	なし		参考書	授業形態	演習
成績評価	平常点 40%授業への貢献度 40%、制作レポート評価 20%				

1. 授業概要

講師、もしくは学生が作成した脚本をもとに講師が実際の演出を行い、学生は各パートの職種に分かれて撮影、編集を行い実際の制作プロセスを理解する。その後学生が講師の指導により演出も含めて全ての業務プロセスを行い、より自主的な制作能力を習得する

2. 到達目標

テレビ番組、映画の制作で使われる脚本、画コンテ、スケジュール表などの作成が出来るようになる。
編集志望の学生はドラマの編集を中心に編集テクニックが上達する。
音声・MA希望の学生には別に時間をとり上達を目指す。

3. 授業計画

前期	
1	現場の進め方講座
2	撮影、照明、録音、編集、演出、各パートに分かれての講座、各班に分かれての撮影打ち合わせ
3	実習作品その1 撮影①
4	実習作品その1 撮影②
5	実習作品その1 撮影③
6	実習作品その1 撮影④
7	実習作品その2 打ち合わせ
8	実習作品その2 撮影①
9	実習作品その2 撮影②
10	実習作品その2 撮影③
11	実習作品その2 撮影④
12	実習作品その1 上映、講評会
13	実習作品その3 打ち合わせ
14	卒業制作作品のプレゼン、投票、班分け
15	実習作品その3 撮影①、卒業制作シナリオ打ち合わせ
16	実習作品その3 撮影②、卒業制作シナリオ打ち合わせ
17	実習作品その3 撮影③、卒業制作シナリオ打ち合わせ

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	放送映像学科
科目番号	226	科目名	卒業制作	科目区分	兼任 実務教員
科目群	専門	担当講師	小中和哉、金田龍、高橋巖、斉藤みゆん	履修区分	必修
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	6
教科書	なし			授業形態	演習
参考書					
成績評価	平常点 40% 授業への貢献度 40%、卒業制作レポート評価 20%				

1. 授業概要

2年間の集大成として班ごとにオリジナルの作品を学生主体により制作する

2. 到達目標

映像作品の企画から完成まで全てのプロセスを学生自身で実施できるようになる。

3. 授業計画

後期	
1	卒業制作スケジュール調整
2	スケジュール調整と機材調整など
3	卒業制作撮影準備①（ロケーションハンティングなど）
4	卒業制作撮影準備②（必要なものの手配など）
5	卒業制作撮影準備③
6	卒業制作の撮影①
7	卒業制作の撮影②
8	卒業制作の撮影③
9	卒業制作の撮影④
10	編集①
11	編集②
12	編集③
13	編集④
14	MA①
15	MA②
16	MA③
17	上映講評会